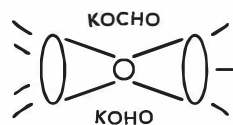


fall in 南無

フォーリンナム



あなたに聴きたい報せたい
広聴広報室

名古屋教区 教化委員会

伝われ！この想い

2022.
10.01
vol.

07



伝統は、
あなたからはじまる

NEW

教えて fall in 南無！

コラム 縁の中の力もち 山内順司さん(名古屋教区准堂衆会 会員)



伝統は、あなからはいまる

毎年、名古屋別院では12月13日から18日までの五昼夜にわたり報恩講が勤まります。今号では、その法要に携わる方々を中心に紹介します。長く受け継がれてきた儀式作法などを肌で感じ、お参りいただければ幸いです。

2019年の名古屋別院報恩講の様子

列座

別院の職員として報恩講の時だけでなく、毎日のお勤めや「御文」の拝読・永代経・志経・仏前結婚式等、別院で行われる寺務を執行しています。それは基本的なお給仕をはじめ、お勤めや各法要の準備や片付けにいたるまで多岐にわたります。1月1日の午前6時から「修正会」のお勤めをして新しい年を迎えます。また1月2日から7日までは午前7時30分より「修正会(晨朝勤行)」を行います。

准堂衆

お勤めの助音として、報恩講期間中、外陣に出仕をしています。また、本山報恩講(11月21日～28日)へも出仕しています。大谷派の声明・儀式・作法の研究修練、伝統を保持するため日々研鑽に努めています。年に1度、どなたでも参加できる「公開講座」も開催しています。

報恩講に出仕する列座と准堂衆



報恩講とは？

報恩講は、親鸞聖人の恩徳に報謝する法要であり、同時に、法要を機縁として人と人が集い信心を確かめる場でもあります。お念仏の教を聴聞し、自らの生活を振り返る、真宗門徒にとって一年でもっとも大切な御仏事です。

楽僧

報恩講期間中の、初・中・結願の逮夜・日中法要に出仕をします。鳳笙・箏・龍笛・羯鼓・鉦鼓・樂太鼓の楽器で重ねられる音色は、浄土を荘厳し、法要の厳肅さを一段と感じさせます。本山報恩講をはじめ、寺院・教会の御遠忌、落慶法要等でも楽が入って勤められます。年に一度、楽僧が中心となって「舞楽と管絃の会」を開催し、日々の練習の成果が披露されています。



千鶴ちゃんの報恩講一口メモ

＜報恩講＞法要の呼び方一覧

※…入楽法要

お勤め始	午前7時～	午前10時～ (18日は11時～)	午後2時～
13日			初逮夜 ※
14日	初晨朝	初日中 ※	逮夜
15日	晨朝	日中	中逮夜 ※
16日	中晨朝	中日中 ※	逮夜
17日	晨朝	日中	結願逮夜 ※
18日	結願晨朝	結願日中 ※	

報恩講の法要は

13日午後の初逮夜から
18日午前の結願日中まで
こんな呼び方をするでし！



ちなみに朝は
晨朝でし!!

参勤法中

教区内外の僧侶が内陣や余間に出席しています。僧侶によって、衣や袴、五条袈裟の色や紋がそれぞれです。さまざまな色や紋の違いがありますのでその違いを探してみるのも楽しいかもしれません。また17日の結願逮夜、18日の結願日中には大谷暢裕門首が内陣にご出仕(御親修)いただく予定です。

内陣…阿弥陀様が安置されているスペース
余間…内陣の左右にあるスペース
外陣…内陣・余間の手前のスペース



報恩講は、別院内の奉仕活動の他、仏花・畳張替え・蠟燭代など本堂のお荘厳の費用(護持費)をまかなう三講(御花講・畳講・法灯講)そして、見真会(「fall in 南無 vol.3」参照)などの皆さんの活動があって勤められています。報恩講にお参りいただき様々な伝統を感じてみませんか？詳しくは名古屋別院(052-321-9201)までお問い合わせください。

EVENT SCHEDULE

スケジュール

10月～12月

(2022年9月1日現在)

分類	事業名	概要	該当月			時間
			10月	11月	12月	
教化伝道	定例法話	毎月	5～28日		5～12日	9:30～ 11:10～ 13:00～
	報恩講	年1回	—	—	13日 14日～18日	12:00～ 7:00～
	信道講座	年12回	9日	13日	11日	10:00～
	真宗門徒講座	年10回	11日	7日	6日 (7月振替)	14:00～
	別院奉仕研修	年5回	5・19日	—	—	10:00～
	おそうじサロン	年3回	31日	—	—	10:30～
	ひとくちWeb法話	随時	—	—	—	随時
教化センター	聖典研修	年4回	—	10日	—	18:00～
企画・広報	縁日一如さん	毎月	12日			—
	東別院暮らしの朝市	毎月	8・18・28日			10:00～
	初鐘 ※1月です	年1回	—	—	元日	0:00～
	修正会 ※1月です	年1回	—	—	元日 2～7日	6:00～ 7:30～
教区	解放運動推進要員研修	年5回	4日	8日	—	16:00～
名古屋教区 名古屋別院	宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年慶讃法要 お待ち受け大会	—	1日	※ 詳細についてはホーム ページ「お東ネット」の 慶讃法要特設ページを ご確認ください		 特設ページ QRコード
	東別院子ども報恩講 with 青少幼年お待ち受け大会	—	8日			

お問い合わせ先(上記の色順で表記しています)

■ 名古屋別院教化伝道部	TEL: 052-331-9578
■ 名古屋教区教化センター	TEL: 052-323-3686
■ 名古屋別院社会事業部	TEL: 052-331-9576
■ 名古屋別院(代表)	TEL: 052-321-9201
■ 名古屋教務所	TEL: 052-331-2468

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、各種事業が中止あるいは延期、一部内容変更等となる可能性があります。最新情報は東別院ホームページ(お東ネット)や『名古屋御坊』にて掲載いたしますので、ご参加の前にご確認ください。



東別院ホームページ
(お東ネット)



COLUMN コラム
vol. 07

なか 縁の中の力もち

報恩講では力強く迫力のある声(声明)で法要を勤めるだけでなく、本山で学ばれた声明を日々研鑽し、教区内僧侶や有縁の方々とお伝えや心得を確認する「准堂衆」。

今号では准堂衆会会員の山内順司 さんにお話を伺いました。



一なぜ准堂衆を目指そうと思われましたか？

山内: 法務や葬儀で父の声明と音や拍子が合いませんでした。父から読み方を教わっても正解が分からず喧嘩になるんです。そんな時に寺族声明研修会に参加しました。1、2年参加し声の出し方、節譜や拍子を習得してくると今度はこっちが正解だから合わせろよ!と思ったりしました。その時に先生から「声明というのは声を出すだけではありません。旧漢字の聲という文字には、耳という字がある。お勤めをしながらきく、きくというのは仏さまの教えをきくということ」を教えられました。そこでもっと学びたいと思ったのがきっかけです。

一お勤めを習う中で苦労したことはありますか？

山内: 発声の仕方が悪く、ずっと声の出し方に悩んでいました。その中で毎日の積み重ねで腹式呼吸を練習したりお稽

古をしてました。しかし、一番苦労したのは発声、腹式呼吸、節譜の扱いや拍子に気が行ってしまう、よく先生に「言葉が明確に伝わっていない」と言われたことです。そこが一番苦労した部分で、声明の一番大事なことだと思うんですね。

一伝統芸能に興味があると伺いましたが…

山内: 曾祖父が作った抹茶茶碗があり、それを見ていた時に曾祖父はどういう人であったのか、どういう世界を見ていたのかを尋ねたくなり、自分で抹茶茶碗を作るようになりました。また展示会で、ある陶芸作家さんの作品テーマが「物の声を、土の声をきけ」だったんです。抹茶茶碗を作るようになり知りましたが、いろんな土があるんです。粘りや色も産地によって違います。その作家さんは「まず土の声をきくことが大切、何を作るかよりもまずきく、きくことが形となる」と。

これって声明につながる!これは偶然でしたが向き合い方が声明とつながっていて余計にのめり込んだのかもしれない。

一報恩講ではどんな勤行をされていますか？

山内: お勤めの形式としては『正信偈』念仏讃という形のお勤めが基本となっています。陶数等々は違いがありますが、その中で親鸞聖人の御和讃の中から仏さまや七高僧の教えをきいた喜びをたたえているものをお勤めしています。

一報恩講に参詣される皆さんにお伝えしたいことはありますか？

山内: お香の香りや声明も仏さまの莊嚴の一部ですので、教えの言葉(声)をきいていただきたいです。

一ありがとうございました。

プロフィール profile



やまうち じゅんじ
山内 順司

浄信寺(第20組・名古屋市中村区)住職。
名古屋教区准堂衆会 会員



手作りの抹茶茶碗

編集後記

慣れとは怖いもので、度が過ると怠惰へと行き着いてしまう。本誌「fall in 南無」もこれまで7回発刊し、少し作業にも慣れてきました。今回、コラムの取材を通し自分の立ち位置を再確認すること、また人やモノとの出会いから改めて自分を発見することの大切さを感じました。気を引き締め直して発刊を続けていきます。(h)

発行日: 2022年10月1日
発行人: 小林 育(真宗大谷派 名古屋教区 教化委員長)
発行所: 真宗大谷派 名古屋教区 教化委員会 広報広報室
所在地: 〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋二丁目8-55
TEL: 052-331-2468 FAX: 052-321-5845
nagoya@higashihonganji.or.jp
広報誌デザイン: 株式会社レンズアソシエイツ
表紙/特集デザイン: カザミドリデザイン

皆様のご意見をお聞かせください
<https://forms.gle/81jNZeq4DJwMJyMCA>



千鶴ちゃんのアヤちゃん

INSTRUCTIONS

あなたに 聴きたい 報せたい



教えて fall in 南無！

Q1 「fall in 南無」とは
どういう冊子ですか？

A. 本誌では、教区や別院境内で開催される各種事業（講座・研修・行事等）を掲載しております。
是非持ち歩いていただいて、別院にお参りください。

Q2 どこで手に入りますか？

A. 名古屋教務所、別院境内、協賛いただいているお店や場所に置いてあります。詳しくは名古屋教務所までお問い合わせください。

Q3 いつ発刊されますか？
発刊のペースは？

A. 1・4・7・10月の年4回です。
(2023年5月末まで)

Q4 読者の対象は
どのような人でしょうか？

A. 門徒さんを中心に、ご縁のある方々です。

Q5 冊子の価格は
いくらでしょうか？

A. 無料です。まとまった部数が必要な方は名古屋教務所までお問い合わせください。

✳ 本誌の内容充実に向けて、皆様からのご意見・ご質問等お待ちしております。
ご意見・ご質問いただいた方の中から抽選で千鶴ちゃんグッズ(非売品)をプレゼント致します。



INFORMATION

ご案内

解放運動推進要員研修

開催場所：対面所 🗨️

名古屋教区では、部落問題をはじめとした人権・差別問題を広く学び、組において解放運動・人権啓発を主体的に推進する人を育成することを目的に、毎年、当研修（1期3年）を開催しています。

11期3年目となる今年度は「解放教学としての真宗を見出す」をテーマに据えて、全5回の研修を予定しています。第1回は10月4日（火）に東京教区徳泉寺の岩寄徹氏、第2回は11月8日（火）に岩寄氏と京都教区法傳寺の長田浩昭氏の対談を予定しています。是非ご参加ください。

聖典研修

開催場所：対面所 🗨️

今年度は講師に姫路第一病院小児科部長であり、真宗大谷派僧侶でもある梶原敬一氏をお迎えし、全4回の研修を予定しています。全体を通して「『教行信証』行巻を読む-立教開宗の意義-」をテーマにお話しいたします。第1回は11月10日（木）、持ち物は『真宗聖典』、聴講料は500円です。また申込制でweb配信も予定しています。

報恩講

開催場所：本堂 🏯

報恩講は真宗門徒にとって1年の中でもっとも大切な御仏事です。名古屋別院では、12月13日から12月18日まで法要が勤まり、親鸞聖人のご生涯を著した『御伝鈔』の拝読（15日）や宗祖親鸞聖人讃仰講演会（16日）等も行われます。

はつがね 初鐘

開催場所：鐘楼堂 🏯

境内西側の鐘楼にて名古屋市指定文化財の鐘を撞いていただけます。

元日午前0時から1時30分（予定）までです。

しゅしょうま 修正会

開催場所：本堂 🏯

1月1日から7日まで修正会が勤まります。1年の初めに莊嚴を整え、身も心もひきしめ、仏恩報謝の思いをもって新しい年にのぞむ御仏事です。元日午前5時30分に献盃式を行い、続いて6時より修正会が勤まります。（2日からは午前7時30分より）